

令和7年度 三稜中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【＝Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	160	51	46	8.2	15.0
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	502
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 三稜中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

- ＜国語＞ 平均正答率は全国平均を3.1ポイント下回った。無解答率は1.5ポイント高かった。
- ＜数学＞ 平均正答率は全国平均を0.5ポイント上回った。無解答率は4.4ポイント高かった。
- ＜理科＞ 平均IRTスコアは全国平均とほぼ同じであった。

【今後に向けて】

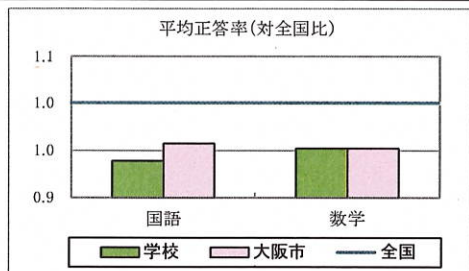
- ＜国語＞ 基礎的な読解力を高める指導を進めていく。特に情報を的確に理解する能力を高める授業改善が必要である。
- ＜数学＞ 「関数」「データの活用」を高める指導改善を進めていく。また、無回答率が全国平均よりも高かったため、粘り強く問題に取り組む姿勢を高めていく。
- ＜理科＞ 文章と実験データを重ね合わせて理解する力を高めていく。

令和7年度 三稜中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

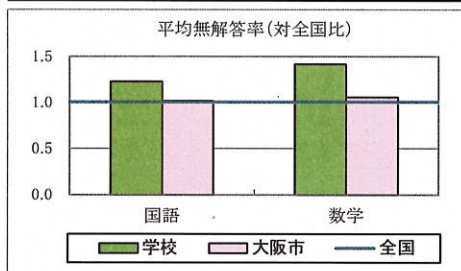
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	51	46
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

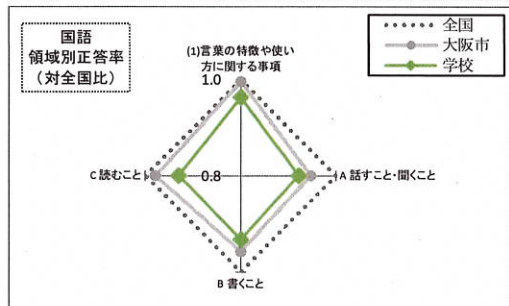
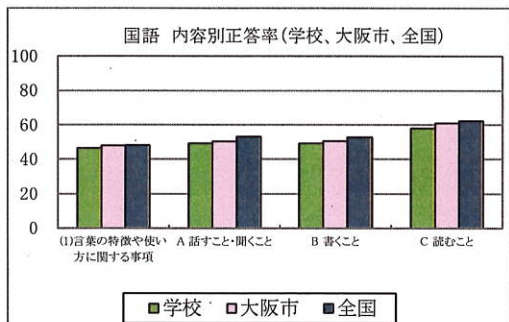


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	8.2	15.0
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



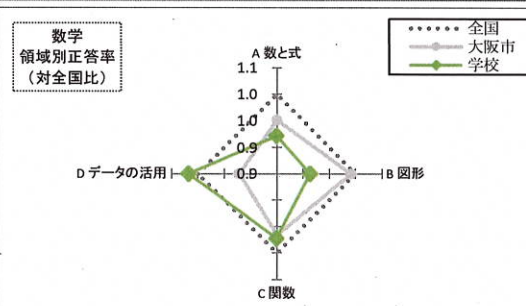
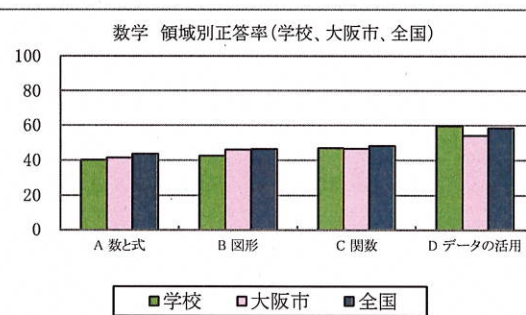
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	46.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方 に関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	49.1	50.4	53.2
B 書くこと	5	49.3	50.6	52.8
C 読むこと	3	57.9	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	40.1	41.4	43.5
B 図形	4	42.5	46.1	46.5
C 関数	3	46.9	46.6	48.2
D データの活用	3	59.6	54.0	58.6

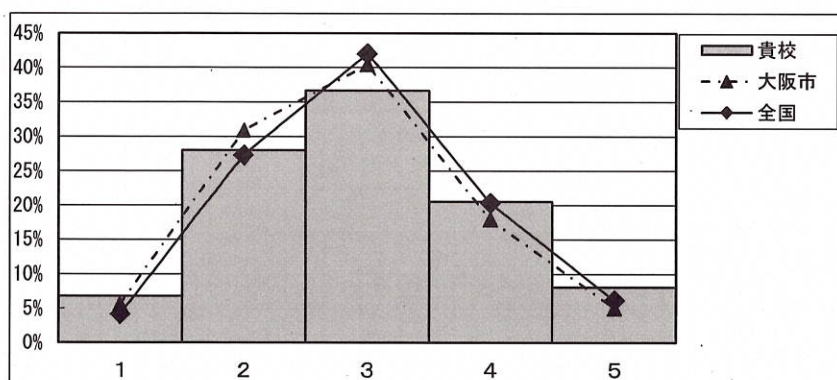
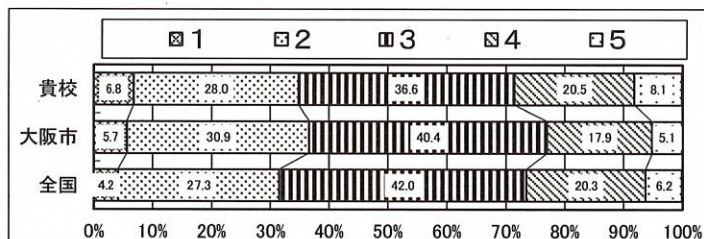


令和7年度 三稜中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	502
大阪市	489
全国	503



令和7年度 三稜中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

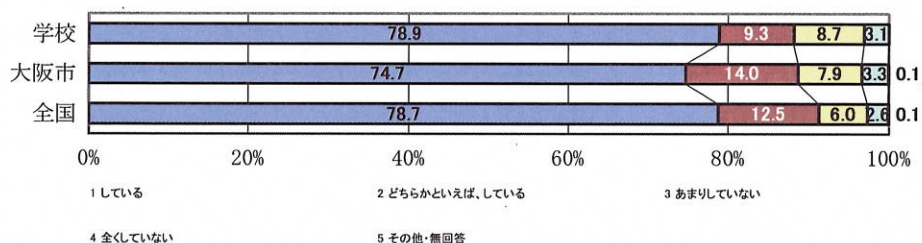
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

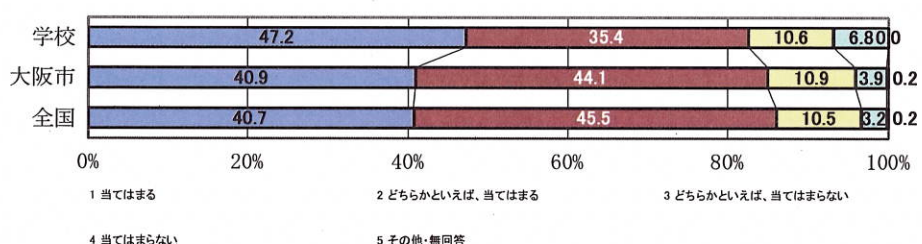
1

朝食を毎日食べていますか



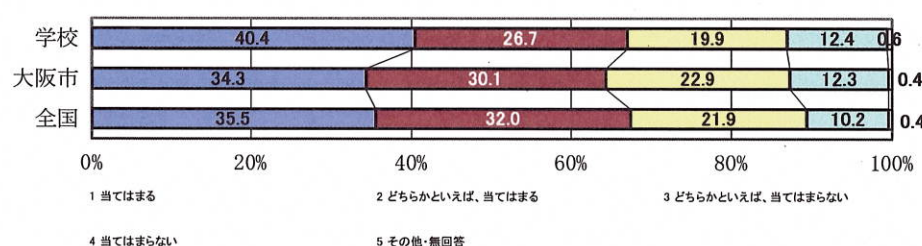
5

自分には、よいところがあると思いますか



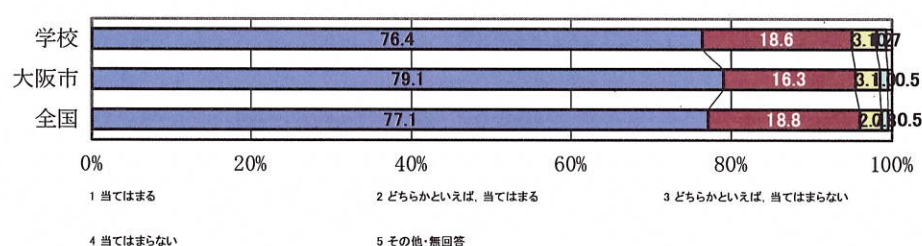
7

将来の夢や目標を持っていますか



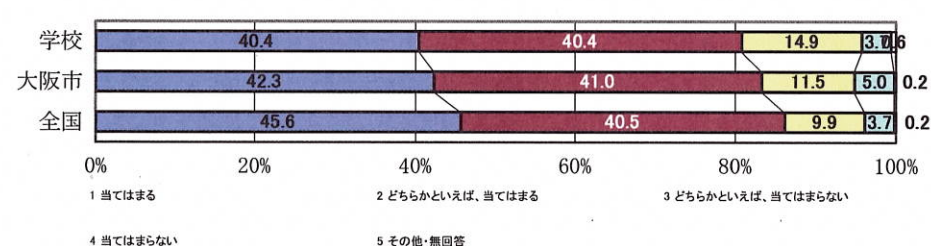
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



令和7年度 三稜中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

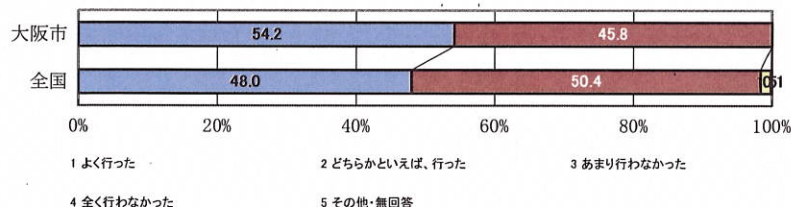
質問番号

質問事項

9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

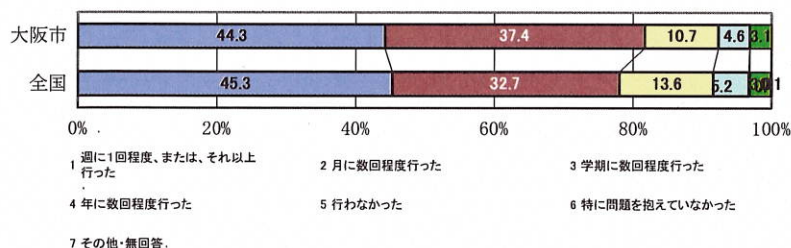
学校「よく行った」を選択



12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

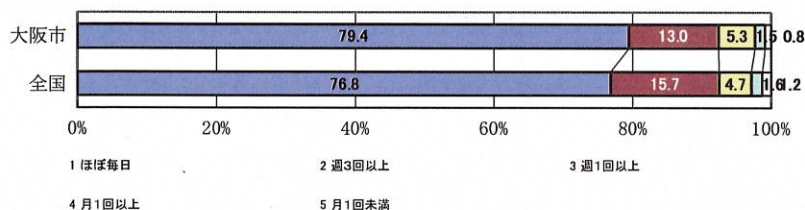
学校「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

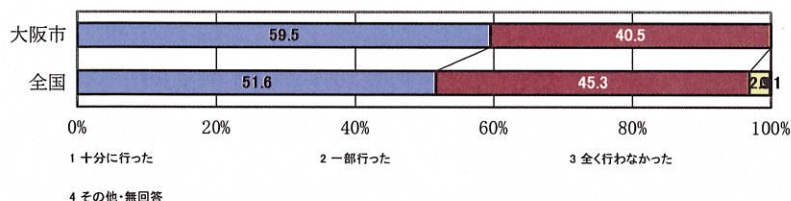
学校「ほぼ毎日」を選択



69

前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、障害のある生徒を念頭に置いた指導上の工夫を行いましたか

学校「十分に行った」を選択



75

コミュニティ・スクール等の仕組みを活用して、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映していますか

学校「コミュニティ・スクールの仕組みを活用して反映している」を選択

